

学校法人 コミュニケーションアート OCA大阪デザイン & ITテクノロジー専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年7月3日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

学校関係者評価委員氏名【 】

大項目	点検・評価項目	自己評価		点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 育成 人材 像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	3		<p>学校法人コミュニケーションアート OCA大阪デザイン&amp;ITテクノロジー専門学校は、学校法人滋慶学園グループに属し、「職業人教育を通して社会に貢献していく」ことをミッション(使命)としている。</p> <p>「3つの教育理念」(「実学教育」「人間教育」「国際教育」)を実践し「4つの信頼」(①業界の信頼 ②高校の先生の信頼 ③学生と保護者の信頼 ④地域の信頼)を得られるように学校運営をしている。</p> <p>教育理念に基づき、OCA大阪デザイン&amp;ITテクノロジー専門学校は、『人に喜ばせ感動を与えられる「即戦力」となるクリエイティブ・IT業界の人材育成』を目的として学校運営をしている。</p> <p>現在、クリエイティブ・IT業界を取り巻く社会環境は大きく変化している。職業の現場で求められる知識・技術の高度化や、より付加価値の高い人材の必要性を背景に、本校では、将来的にも、3年制課程と「産学連携教育システム」により、様々な変化にも対応できる人材の育成を実現していく。</p>	<p>「学校法人滋慶学園グループ」昭和51年の創立以来、「職業人教育を通して社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、進学時から変わらない「3つの教育理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育実現を目指す。医療・福祉・美容・調理・製菓・バイオ・スポーツ、IT・クリエイティブ・エコ・音楽・ダンス等、多岐にわたる分野で北海道から福岡、NYまで82校を有する。</p> <p>「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を実践的に教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された「滋慶学園グループ独自の教育システム」。</p> <p>「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を]を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキルを身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え・気構え・心構えを養成する。</p> <p>「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う</p>	3	
	1-2 学校の特徴は何か						
	1-3 学校の将来構想を抱いているか						
2 学校 運営	2-4 運営方針は定められているか	3		<p>諸環境の変化に対応できるように、運営方針を事業計画にまとめている。滋慶学園グループとしては、毎年、長期・中期・短期展望をし、事業計画を作成している。</p> <p>それを受けて、滋慶学園COMグループが短期事業計画を作成するが、そのものになるのが、滋慶学園COMグループに属する各学校が作成する短期事業計画であり、毎年作成しているこの事業計画書が各学校における運営の柱となるものである。事業計画は、法人常務理事会、法人理事会の決議を受け、承認を得ることになっている。それを受け、各学校では毎年教回、勉強会として、事業計画に基づく、学園および学校の方針について、全教職員へ周知徹底するための研修を行っている。</p> <p>事業計画においては、グループ全体と本校の方針や方向性、組織、各部署における目標や取り組み、職務分掌、各種会議及び研修等々についてが明確に示されている。</p> <p>運営組織は、事業計画の核をなす組織目的、運営方針、実行方針と実行計画に基づいたものである。半年度の運営も、中期計画の視点にたって行われる。事業計画書の組織図には学校に係わる人材が明記され、誰もが全員の組織上の位置づけを理解できるようになっている。</p> <p>学校が重要視していることとして、滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って、採用と人材育成を行い、様々な研修において目標達成に向け、スタッフのスキル面とマインド面の向上を図り、また関わるすべての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、各種研修や会議、ミーティングにより、コミュニケーションの重要性を確認している。また、滋慶学園グループ共通システムである専門学校基幹業務システム(Aシステム)により管理・運営している。学生情報や総務管理、財務情報などの管理を行っている。</p>	<p>各学校における事業計画書は、広報・教務・就職と、学校におけるすべての部署について考えられ、また、すべての部署が同じ方針・考え方を理解し、徹底している。</p> <p>学校全体の運営、あるいは各部署の運営が正しく行われるために、様々な研修や会議が設けられ、この研修、会議を通じて、個人個人の目標設定及び業務への落とし込みを行い、また常に方向性、位置づけ等を確認できるシステムを構築している</p>	2.875	<p>役割においても適切な研修及び講習を実施されている事は個々のスキルアップに繋がりが大変良い事だと思います。入学当初より、即戦力となる授業と課題の取り組みに加え、生徒という視点に限らず常に一人の「人」としての教育に重きを置いておられるように感じました。一貫した理念のもと、持続可能な教育体制を築かれています。</p> <p>こちらの項目につきましては、総合的な観点から、私が特に申し伝える立場にございませんが、少子化の影響と向き合う点につきましては、企業も同様に課題になっていくことだと感じております。事業計画におかれましては、所謂「適性の流行り」に對しては慎重に運営のご判断が成されることを強く願います。これらは企業側も同様ですが、プログラマーやYouTuberなどの新たな分野が、業界内においても近しい活路だと当初は受け止めがちでしたが、昨今では既に他業種として確立してきたように感じております。また御校内での役割におかれましては、特にこの数年間は、丁寧かつ慎重に運営されているように感じて頂いております。教育理念のもとに学校運営がなされており、教員・スタッフの教育をはじめ、情報共有や情報収集のための活動も積極的に行われている。極めて順調かつ健全な運営体制であると想料します。</p>
	2-5 事業計画は定められているか						
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか						
	2-7 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか						
	2-8 意思決定システムは確立されているか						
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか							
3 教育 活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3		<p>職業教育は常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の動向を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。</p> <p>本校は教育システムとして、独自の「産学連携教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界と乖離することなく、業界で即戦力となりうる人材を育成、輩出できている。</p> <p>教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで、体系的に編成されているが、教育委員会等と研究、見直し等を行っている。カリキュラムは学科(専攻)に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指す、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。</p> <p>授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、教育到達レベルの明確化や授業評価、講師会など各種研修・勉強会を実施しているが、これを通して講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断ができる要因となっている。また、必要な教員を確保できるよう、総合的に努めている。</p> <p>成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っている。</p> <p>資格取得については、色彩試験検定やIT系の資格対策授業など、業務を行う上で必要な資格、就職に有利な資格という範囲で取得に向け、支援を行っている。</p> <p>また本校は教育システムのさらなる開発のため、滋慶COMグループのクリエイティブ系全校から構成する「クリエイティブ教育委員会」を運営し、システムの共有化、レベル向上化を図っている。</p> <p>主な部会内容は、①教育指導法 ②カリキュラム検討 ③生涯教育プログラム ④全国企業プロジェクト ⑤国際教育システム開発 ⑥イベント・卒業・進級制作展の運営 等である。</p>	<p>本校は、1988年の開校以来、教職員の目標として、 1. 専門就職希望者全員就職 2. 退学率 0% (入学者は全員卒業してもらう) を掲げ、その達成のために構築した2つの重要なシステムを構築している。</p> <p>第1のシステムは入学前の自己発見-自己変革-自己確立という、自己3段階教育と、動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。</p> <p>第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識、ビジネスマインド等を身につけるための教育システム「産学連携教育システム」である。これには、次の8つが挙げられる。 ①企業プロジェクト ②現役クリエイター・エンジニア講師陣 ③業界研修 ④海外実学研修(コロナ禍においては、海外プログラムなどを実施) ⑤特別ゼミ ⑥ダブルメジャーカリキュラム ⑦キャリアセンター・デビュー事務局 である。</p>	3	<p>専門学校に求められている即戦力としての実践的技術・知識・ビジネスマインドなどを身に付けるための教育を実践されているのは生徒の為に有効である。コロナ禍において教育の歩を止めない為の工夫をされているのは、ご苦労があると思いますが適切に対応されておられるのに感謝致します。</p> <p>但し、本来であれば「退学率0%」は大変理想的な数字ではございますが、如何せん目指すべく世界が特殊な技術職となりますので、どうしても「合う合わない」が出てくるかとも思います。あらゆる教育が、人生の選択肢を増やすためにあると考えますと、学生が自ら選択したドロップアウトの場合は、やはり致し方ない結果のように思えます。</p> <p>弊社でも、社員達の人生設計にまで向き合った組織作りを心掛けておりますが、恥ずかしながら自他ともに気付くのが遅かったと思える事例もやはりございます。</p> <p>この30年ほど掛けて、世代を超えて周知されてきた業界であるからこそ、入学や入社というタイミングでは、より高いハードルの専門性を問うべき時代になってきているとも感じております。</p> <p>長期的視野に立った研修など、対外的には見えにくい計画的に実施されており、真摯に教育現場の員の向上をめざす学校の姿勢が感じられる。</p> <p>生徒のみに関わらず、教職員・講師・スタッフ等の自己啓発・研修を定期的に行われているということが授業や学校とのやり取りの細部に明確に表れていると感じています。生徒一人一人の性格や個性に合わせたアドバイス・声かけなどが人材育成の成果に表れていると思えました。</p> <p>産学連携については、弊社としても出来ることがあれば協力させていただければ存じます。</p>
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか						
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか						
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか						
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか						
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか						
	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか						
	3-16-17 教員の専門性を向上させる研修を行っているか						
	3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか						
3-18 資格取得の指導体制はあるか							

4 教育 成 果	4-19 就職率(卒業生就職率・求職者 就職率・専門就職率)の向上が 図られているか	3	教育成果は目標達成の努力の結果であるが、本校では、専門就職 希望者 全員就職、退学者0名 を教育成果の最終目標に学校運営を行っている。  就職では、開校以来、就職希望者全員就職を達成しているが、専門就職率 の向上も課題として取り組んでいる。 退学者では、開校以来、様々な取り組みの努力を重ねた結果、2021年度は 4.1%(全体退学者)となり、今後も学生個々の徹底したフォロー、カリキュラ ムの工夫、担任・副担任制度の強化、学生カウンセリングの強化等々を実 施し、退学者0%達成に向け、努力を継続していく。 在校生と卒業生のデビュー実績やコンテストへの入賞、商品化や参加作品 などについては、担任との面談をはじめ、同窓会の開催や卒業生のネット ワークを活用して把握に努めている。	教育成果の1つである就職は、年々、専門就職率が向上しているが、100% を達成すべく、努力を続けている。 また、できるだけ多くの学生に夢をかなえて就職するよう、就職対象者率の 向上も大きな課題である。  学生が目標を達成できるように、保護者と三位一体となり、支援する体制作 りを実施している。  退学者では、転科・転専攻等の個別カウンセリングの強化し現状以上に体 制を整え、1人でも退学者を出さない学校になるべく、努力している。 今後は、最終目標である0%に向け、さらなる努力を重ねたい。	3	日々生徒の希望を叶えるために努力されておられます。しかしな がら、コロナ禍において無理な事も多く、良く努力されておられま す。 退学者といった共有の目標が立てられていることで施策も出やす いと思いますし、また科に合わせて資格取得などにも取り組んでい ることで、体系的な学びの成果を得られていることは良いと思いま す。 上記項目と同様に、大変難しい課題となる「成果」だと思います が、三位一体と併せて、是非とも企業も共に歩ませて頂きたいと思 います。 この業界における教育機関や企業が、飛び込みやすい世界となっ てきた反面、共に個人における熱意や努力は低下傾向にあると感じ ています。 そのような専門的特殊能力を武器に、自他共に闘い、その中で対 価を得て人生を豊かにしていく世界であることを、学生と保護者と 学校と企業が一致となり、今一度真剣に向き合うことが必要だと 強く感じております。 又、御校をご卒業された方々のご活躍につきましても、引き続き積 極的に情報の共有に携わらせて頂ければと考えております。 資格取得は学生にとって将来必ず感謝される取組であり、継続し て指導・サポートしてほしい。 近年のコロナによる影響で社会情勢も大きく変化した中、貴校の 臨機応変・早急な対応により社会に出る前の多感な時期に多くを 学べる環境を整えてくださった事が、教育成果と他校に比べ退学 者が抑えられている結果に表れていること、行事等を通して拝見した 際に強く感じております。 退学者ゼロというのは不可能に近いミッションですが、高い目標を 掲げ続ける姿勢に共感いたします。
	4-20 資格取得率の向上が図られてい るか					
	4-21 退学者の低減が図られているか					
	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍 及び評価を把握しているか					
5 学 生 支 援	5-23 就職に関する体制は整備されて いるか	3	本校では、学生が目標を達成できるように、物心両面の環境を整備してい くことで支援に繋がると考える。例えば、健康の維持は学業目標達成 には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体 制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場 合、支援は効果がない。 それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。 またキャリア教育・生涯教育の観点から卒業後の支援についても、継続して いる。  学生支援には、①就職 ②学費 ③学生生活 ④健康 などの分野で行っ ているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者を置してい る。 ①就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強 い連携をとりながら、就職の相談、質疑、面接他各種指導などの支援をして いる。また、保護者会を開催するなど、随時、保護者とも連携し、必要な支援 を実施している。  ②学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費 面でのサービスをアドバイスするファイナンシャルアドバイザーにより支援し ている。  ③学生生活については、担任及び副担任制により行いが、それ以外にも SSO(スチューデント・サービス・センター)という悩みや相談を受ける専門部 署を置き、支援している。  ④健康については、滋慶学園グループのクリニックである慶生会クリニッ ク大阪が担当し、在学中の健康管理を支援している。 また、学生の課外活動であるサークル・同好会について、学校が年間予算 を計上し、担当者を配置して、支援し、学生満足度アップに貢献している。 学生寮も学園の専用の寮を整備しており、寮長と担任とが連携して学生を 支援している。	滋慶学園グループでは、「ひとり一人を大切に」というコンセプトがあるが、本 校でもこのコンセプト通り、学生を第一に考え、様々な支援体制を整備し ている。  その中でも、「就職」は学生が目標を達成し、業界で活躍するための最重要 事項であり、本校では非常に力を入れており、キャリアセンターという専門部 署を置き、専任のスタッフを配置している。  キャリアセンターは、業界現場での実践研修である「業界研修」の指導から、 個別相談、就職対策講座、就職支援イベント開催、就職相談等々、就職に 関するあらゆる支援を行っている。デビューを希望する際には、デビューセン ターのスタッフが作品添削会やデビューのチャンスを提供している。卒業後 もデビューバンクに登録し、卒業生のサポートも継続している。  また、求人情報等を学生が自宅のパソコンでも閲覧できる就職支援システ ム「サクセスナビ」、一斉メールなどシステムの構築をし、迅速な対応がで きるように支援している。  このような支援体制の結果、就職希望者は全員就職を達成している。「就 職」と並ぶ重要項目である、「教育」については、教育環境を整備し、成果を 上げている。 即職力の人材を育成するための施設・設備、機材等々を完備し、また業界 ニーズとブレのないカリキュラムの構築、業界第一線で活躍する講師陣によ る授業など、オンラインを目指す学校として十二分な体制を確立してい る。	3	時代が求めている人材と生徒個人が求めている将来像をリンクさ せるように支援されています。 学生の質が変わってきたことだが、その変化にも支援やフォ ロー・サポートを継続的に検討されており、真摯に向かい合ってい ると思います。 こちらも毎朝同じように感じさせて頂いておりますが、御校におけ る「学生支援」につきましては、環境面、体制面ともに、十二分過ぎ るほどの充実さを感じさせて頂いております。 (生意気な意見ではございますが、少々過剰なぐらいにも感じるほ どです。) 又、奨学金制度におかれましては賛否両論があるかとも思いますが が、社会に出てからの返済に苦しむ声が目立つようになって来 ました。 進みたい進への教育が受けられないと本末転倒ですが、奨学 金制度については、より一層の意思確認と、ご家族を含めた将来 への覚悟について深くお話し合いをお進め頂きたいと思いま す。 自立自助の精神を学生時代に身に着けることは重要であり、人生 はあくまでも自分がすべての責任を負うものであるという自覚を醸 成することは教育の一つの大きな目的でもあると思います。 学生支援体制は十分に整えたうえで、そうした自ら考え行動する 習慣をサポートしている点は非常に評価できます。 カウンセリングや医療等のサポートもあり、自ら健康管理をしやす い環境であること、海外からの留学生の受け入れにより、国の考 え方、自尊心なども同時に養えているように感じました。 コロナ禍が(結果として)集いシステムは、今後も資産となること と思います。ぜひますます充実させていってください。
	5-24 学生相談に関する体制は整備さ れているか					
	5-25 学生の経済的側面に対する支 援体制は整備されているか					
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制 はあるか					
	5-27 課外活動に対する支援体制は 整備されているか					
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への 支援は行われているか					
5-29 保護者と適切に連携しているか						
5-30 卒業生への支援体制はあるか						
6 教 育 環 境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性 に十分対応できるよう整備され ているか	3	本校は、業界で即戦力となり得る人材育成を目的としており、そのための教 育環境(施設・設備、機材等)の整備は重要であるが、完備されていると考 える。25年度9月には新校舎へ移転し、さらに教育環境の充実が図られた。  学内の教育環境に留まらず、学外の環境(インターンシップ、業界研修、学 外演習、海外実学研修)も十二分に整備することが必要であるが、キャリア センター、教務部、国際部が一丸となって、その整備を行い、教育効果につ なげている。  防災訓練・避難訓練も計画的に実施しており、安全対策を日ごろから啓蒙し ている。	オンラインを目指す本校にとって、教育環境である施設・設備・機材等は 非常に重要な要素であり、業界において最新・最良のものを整備している。  新型コロナウイルス対策としての感染予防設備も積極的に導入。4月には、すべての PC教室に飛沫防止フィルムを設置、エントランスにはサーモグラフィによる 検温装置も導入。夜間にはカソン生成による教室除菌装置も導入し、安 心・安全に授業を受けることができる環境を整備した。  海外研修についてはコロナ禍により実施は見送り、海外クリエーターによる ゼミや海外企業との企業プロジェクトなど、グローバルな視点を育成できる カリキュラムをその代替として実施した。  毎年、事業計画で計画し、予算計上の上、計画通りに購入・更新等を行って いるが、これ以外の学外教育環境も教務部、キャリアセンター、国際部が一 丸となって整備しており、これは本校の大きな強みと考えている	3	コロナ禍であっても、構内の生活の充実のために投資されているこ とは素晴らしいと思います。 御校の教育環境におかれましては、施設、設備等、十二分という 言葉では納まらないほどの恵まれた環境かと思われます。 学ぶ場が、決して最新・最良であるべきとは思いませんが、可能性 を広げるという意味では制作系ソフトは企業サイト審りに、PCス ペックはご家庭でも学習されることを配慮しつつ、御校での環境も 中間スペースで充分かと思われます。 学生生活のクオリティ向上に注力しており、また新型コロナウイルス感染症 対策についても徹底している。 学生支援と同様に清潔な教育環境を常に考え、コロナ禍でも学生 が集える快適な施設づくりの配慮等が感じられる、安心して通わせ られる学校だと思います。 コロナによって海外との繋がりが薄くなってしまっていることは、学 生にとっても痛恨事であると思います。折を見て、復活できるよう、 折っています。
	6-32 学外実習、インターンシップ、海 外研修等について十分な教育体 制を整備しているか					
	6-33 防災に対する体制は整備されて いるか					

<p>7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>7-34 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか</p> <p>7-37 学納金は妥当なものとなっているか</p>	<p>3</p>	<p>本校は、大阪府専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO入学等)を遵守している。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学校募集ができるように配慮している。</p> <p>さらに、広告倫理委員会を設置し、広報活動の適切さをチェックしている。広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して、学校告知を実施し、教育内容を正しく知ってもらうように努めている。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・入生の個人情報等本校に関わるもの個人情報は、校内に個人情報保護委員会を設置し、厳重に管理し、流出及び他目的に使用しないように、管理の徹底を図っている。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考会議」により、可否を決定する。</p> <p>なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。</p> <p>将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、学科試験を行うものではない。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。</p> <p>保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>学生募集については、募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、また、過大な広告を一切排除し、厳正な学生募集に配慮している。</p> <p>広報活動では「学校の特色を理解してもらうこと」を強化している。本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージがどれだけ明確になっているかが大切と考え、体験入学や説明会への複数回参加を促し、充分理解し、疑問を解消した上で出願してもらうことを心がけている。</p> <p>教育成果として、高い専門就職実績と卒業生の活躍の打ち出しを強化しており、学生募集上の効果はかなり高いと考えるが、それゆえ、過大な広告にならないよう、学内に広告倫理委員会を設置し、事務局長、広報スタッフ等が常にチェックしている。</p> <p>本校は、一般社団法人日本プライバシー認証機構「Truste」の国際規格の認証を受けている。</p>	<p>2.875</p>	<p>コロナ禍で募集も中々思うように行かなかったと思いますが、他校との差別化をアピールする方法を駆使するひつようがある。認知が違っていたら課題も見つけられているため、施策も検討しやすいだろうと思います。</p> <p>こちらも毎期のように、大変共感させて頂いております。特に「本校は専門就職を果たしてもらうことを第一目標としているため、入学前に職業イメージがどれだけ明確になっているかが大切と考え」の部分には、企業サイドと致しましては非常に重要な考察ポイントとして受け止めております。</p> <p>企業側の面でも、応募者に対し、就きたい職種や作業の質問を投げかけました際に、「特にありません」という答えが返ってくる場合が結構ございます。(御校の生徒様という意味ではなく一般的な)。</p> <p>故に、教育機関も企業も過大な広告は不要だと感じますし、この世界へ興味を持ち飛び込もうとしている学生には、他校様に見受けられるような取柄の強ひやくよりも、専門性に対する深い知識と理解をご指導頂けますことを願います。</p> <p>海外へオンラインで情報発信するなど、通常の学生募集方法以外の積極的な募集活動は評価できる。</p> <p>過度の広告でイメージだけが先行すると実際に入学後の学生自身のモチベーションの落差により特長が難しく感じます。実際に入学前見学・個人面談をさせていざという時も本人にとつての不安と期待、メリット・デメリットを明確に伝えていたことが入学につながり学生生活に良い影響をくださったと実感しています。</p> <p>ガバナンスコードに照らし、適正な体制を築いていると幸いです。</p>
<p>8 財務</p>	<p>8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>8-40 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>8-41 財務情報公開の体制整備はできているか</p>	<p>3</p>	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。その中で予算(収支計画)は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p> <p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広報・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実に向けた予算編成となっており、健全な学校運営ができていくと考えている。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために、第三者による監査人が法人とは独立した計算書類が適切かどうかを監査することを意味する。平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これに迅速に対応し、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報を公開している。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能なものにするための2つの要素がある。</p> <p>①正確かつ実現可能な予算の作成 予算は短期的、中長期的の2種類がある。短期的は次期1年間のもので、中長期的は2～5年間のものである。当学校法人及び学校では、短期的と中長期的の両方を事業計画書として作成し、短期的視野と中長期的視野の2つの観点から予算編成している。短期的な予算編成は当年度の実績を基礎に次年度に予定している業務計画を加味して行われる。中長期的な予算編成は主として大規模な計画を視野に入れた上で、業界の情勢を読み取りながら行われる。正確かつ実現可能な予算作成のためには、一旦作成した予算が現実のものとならない場合はそれを修正する必要がある。そのために短期的な予算においては中期中に「修正予算」を組み、中長期的な予算においては毎年編成しなすこととしている。これにより、短期的にも中長期的にも正確かつ実現可能な予算編成を組むことができる。</p> <p>②①のための体制作り ①のように実現可能な予算作成するためには、その体制作りが必要になる。事業計画・予算は学校責任者が協議して作成し、滋慶学園本部がチェックし、修正して最終的に理事会・評議員会が承認する体制を整えている。</p> <p>さらに、予算に基づいて学校運営がなされているかどうかは四半期ごとに予算実績対比を出し、学校責任者が予算と実績が乖離しているようであれば修正予算を編成し、理事会・評議員会の承認を得る。作成した決算書・事業報告書については、情報公開の対象となり、利害関係者の閲覧に供している。</p>	<p>3</p>	<p>5ヶ年計画など、予算管理もしっかりされていると思いました。2番目の学校運営と同様に、こちらの項目につきましても、総合的な観点から私が申し伝えている立場にございません。少子化と財務の課題においては、企業サイドも同じ局面に立たされていると感じております。</p> <p>委員会でも素晴らしいコメントがございましたように、これを乗り越えるためには「質を上げる」の一点に尽きるかと共感しております。健全な学校運営が行われている。何ら問題ないと思います。</p>
<p>9 法令等の遵守</p>	<p>9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか</p>	<p>3</p>	<p>法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会が学校運営が適切かどうかを判断している。</p> <p>また、組織体制強化やシステム構築にも努め、次のようなものがある。</p> <p>(A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) (B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)</p> <p>滋慶学園グループ、COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健全な学校(学科)運営ができるようにしている。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。</p> <p>また、自己点検・自己評価の結果についても公開している。</p>	<p>3つ教育「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」で「職業人教育を通じて社会に貢献する」という建学の理念の実現を目指し、4つの信頼(「学生・保護者からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」)を確保するためにコンプライアンス推進をはかる。具体的には、すべての法令を遵守するとともに、社会規範を尊重し、高い倫理観に基づき、社会人としての良識に従い、行動することが私たちの重要な社会的使命と認識し、実践する。</p> <p>方針実行のため、学内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスを確実に実践・推進に当たることとした。</p> <p>委員長は、統括責任者としての学校の役員が就任する。委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のためのPR、啓蒙文書等の作成・配布である。</p> <p>監事による毎年の監査に際しては、業務監査の対象として、コンプライアンスの実施状況についても監査を受けている。</p> <p>今後は、コンプライアンス相談窓口の設置が必要であると考えます。</p>	<p>3</p>	<p>法令遵守への意識がとても高いと思います。こちらの項目につきましては、徐々に学生の段階でも理解が深まってくるように感じさせて頂いております。</p> <p>(特に、昨今の弊校企業におかれましては)とは言葉、世間ではUSB紛失事件などの事例もまだございますので、組織として遵守することの大切さを忘れず、教育機関と企業が一丸となって取り組むべき課題だと感じております。特に問題ございません。まった問題がないものと思います。</p>
<p>10 社会貢献</p>	<p>10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</p> <p>10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p>3</p>	<p>本校には、滋慶学園グループの「4つの信頼」(①業界からの信頼 ②高等学校からの信頼 ③学生・保護者からの信頼 ④地域からの信頼)というコンセプトがある。</p> <p>この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている。例えば、業界企業や団体、あるいは中学校・高等学校等の教育機関とタイアップして行う、出張授業支援やクラブ活動支援、また、スタッフが高校へ出向いて行う特別講義等では、「高等学校からの信頼」に繋がっている。</p> <p>滋慶学園グループが推進する「地球温暖化防止対策」運動で行っている、節電・冷房温度26度設定、階段利用(2アップ3ダウン)や、イベント等におけるゴミ削減、資源有効利用等々は、学生本人のみならず、表された保護者の方々からも高い評価を頂戴し、「学生・保護者からの信頼」に繋がっている。</p> <p>ボランティア活動についても奨励しており、学生便覧にも規定している。</p> <p>特別なことをするわけではなく、滋慶学園グループが掲げる「4つの信頼」の獲得を目指すことが、すなわち社会貢献を果たすことに繋がっていると考えている。</p>	<p>本校では、教職員及び学生たちが、常に社会貢献を意識した活動を行っている。例えば、①大阪府・市からの企業プロジェクト ②大阪府西区の消防署用のポスター、キャラクター制作 ③業界企業とタイアップして行う全国企業プロジェクト ④中学校の職業理解支援等々、年間を通じ、教職員や各専攻の学生たちが、それぞれ特徴を活かし、幅広く、かつ意義のある活動を行っている。</p> <p>その活動が、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「学生・保護者からの信頼」という、滋慶学園グループの「4つの信頼」獲得に繋がりが、その結果が社会貢献を果たすことに繋がっている。</p> <p>今後は、学校の施設や教育ノウハウ等を更に活かし、多様な社会貢献へ発展させていくと考えています。</p>	<p>3</p>	<p>本校と高専連携を通じて高校生の進路指針、夢を叶える手助けをして頂き高校教育の場でも社会貢献をしておられます。継続して企業プロジェクトを行っており、コロナ禍といった状況の中でも学生・学校・先生方がそれぞれしっかりと役割を果たそうとされていると思いました。</p> <p>毎年、素晴らしい取り組みだと感じさせて頂いております。4つの信頼を獲得されております御社だからこそ、これらの取り組みが本来の広告の役割を果たし、その結果、専門性の高い世界であることへの理解に繋がっていることを願っております。</p> <p>常に社会に出る前の準備期間としての心構えと学生の視点(感情)も配慮しつつ、社会貢献・企業様と関わる事で一人の人間としての成長を促して下さっていると感じており、活動の全てが周囲との連携を促し、学生支援を中心に行われていることが何より信頼関係を築いていると思います。</p> <p>社会との繋がりを学生時代から意識させる意味でも、とても意義深い活動だと感じます。</p>